「田植えは大変だ!」　５年　田植え体験学習

Ｒ２．６．５(金)

さわやかなお天気に恵まれ泥も温かい？

児童玄関前で、ゲストティーチャーの畠中さんから説明を聞いて、校地東側の田んぼへ　苗箱から苗を取ります

１校時、着替えて、教室で、総合的な学習「米作り体験学習」について流れを学習

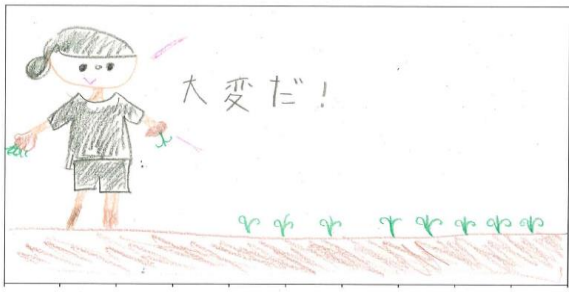
朝早く、丸山さんが田んぼ一面に、目印となる縦・横の線をつけてくださいました。

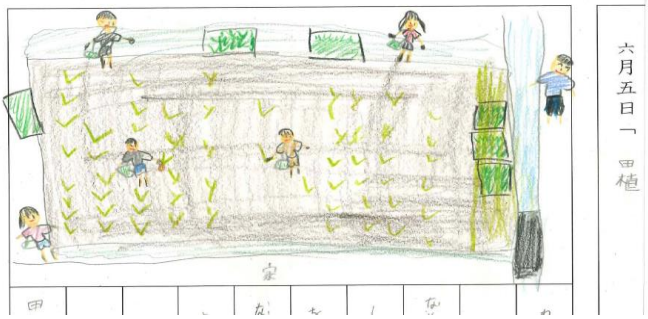
はじめは遠慮しながら田んぼに入り・・・あっという間に泥だらけになり、コツをつかみます

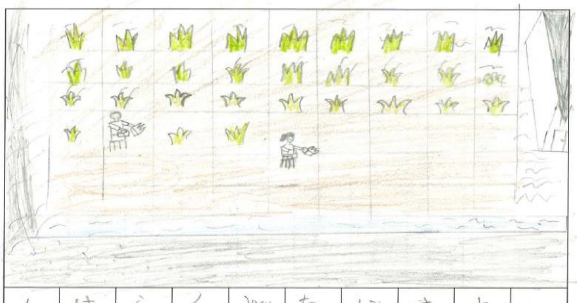
休校中もボランティアの方からは、屋外の活動なので、ぜひ体験をと、何度かお問い合わせがあり、お天気のよい本日、無事田植え体験を行うことができました。はじめは素足の泥の感触に戸惑う子供たちでしたが、いつの間にか手際よく目印の線に沿って植えていく子が増え、90分ほどで半反の田植えを終えました。先生も田植えの様子を撮るつもりで参加しましたが、足りなくなった苗を渡す仕事に夢中になり、あっという間の体験でした。お家の人には、今日は泥のついた洋服の洗濯、ご迷惑をおかけします・・・

校長先生の実家は、専業農家だったので、GW は一日中田んぼ脇の小川で苗箱を洗っていました。「こびる」といって、田んぼでおやつをいただくのですが、いつも子どもは一番最後と決まっていたのに、そのときだけは好きなおやつを一番にとらせてくれるのが楽しみでした。そうそう、そんなときはカラスが飛んできて、軽トラの上においてあったおにぎりを、あっという間にとられたことも・・・。

体験日記より







泥に足を入れるのが最初は怖かったけれど、お友達が助けてくれたので、だんだん慣れてきました。苗を植えていて、少し背中とか足が痛くなったけれど、楽しかったです。苗をたくさん植えました。

「気持ちを込めて植えましょう」と先生がおっしゃって、頑張ろうと思いました。最初、田んぼに入るのがとても嫌でした。でも頑張って入ったら楽しかったです。泥の中を一歩一歩あるくのが大変でした。でも、田植えが終わった後、ものすごい達成感がありました。稲が大事に育ってほしいです。

畠中さんが「稲は大人、米は子ども」教えてくださいました。入るのが嫌だったけど、「勇気を出して」と言われて、最初は気持ち悪かったけれど、ずっと入っていると少しずつ気持ちよくなりました。また、田植えをしたいです。

田んぼに入ってみると、変な石がいっぱいあるし、変な根っこ、おたまじゃくしに、ミミズ、とても気持ち悪かったです。手も足も泥だらけだし、足は抜けなくなるし大変でした。お米は毎日毎日食べているし、洗って炊いてできあがりなので、簡単だと思ったら、植えるのは大変でした。これからは、お米を食べるときは作ってくださった方に感謝を込めて食べたいです。

最初田んぼに入るときは緊張しましたが、入ってみたら気持ちよかったです。苗を植えるのは大変だったけれど、やってみて楽しかったです。最後に転んでしまいました。服が泥まみれになってしまいました。1 本ずつ気持ちを込めて植えたので、ちゃんといいお米になってくれるとうれしいです。